

## 就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ウィズ・チョープロ
住所	長崎市赤迫3丁目2番20号 SOLビル3階
電話番号	095-801-2600

事業所番号	4210104412
管理者名	西岡 哲男
対象年度	令和 7 年度

### 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

※今回の研修は、(株)チョープロ総務部人事グループの社員が講師として実施。

**<活動内容> 【報連相ミニ講座】**  
 ～仕事がしやすくなるコミュニケーションを練習しよう～

- ・活動場所：ウィズ・チョープロ相談室
- ・実施日程：2026/2/17(火)14：45～15：45
- ・活動の概要
  - ・ミニ講義：報連相の基礎を学ぶ
    - ・報連相とは ・なぜ大事か ・報連相の例
  - ・個人ワーク：困った場面を思い出しワークシートに書く
  - ・ロールプレイ：シナリオで練習する
  - ・今日の振り返り：気づいたこと・学んだこと、今後仕事の中でどう活かすかを、振り返りシートに書く
- ・参加者数：A型利用者 3名、職員 3名(職業指導員 1名、生活支援員 1名、施設長兼職業指導員 1名)

**<目的・メリット>**

- ・目的：困ったときに、抵抗なく自発的に報連相ができるようになるためのきっかけをつくる。
- ・メリット：報連相ができるようになれば、ミスやトラブルが減り、困りごとを抱え込まなくてもよくなる。職場の人との信頼関係ができる。など

**<成果>**

- ・報連相がなぜ必要なのかを理解することができた。
- ・報連相の、具体例を学び、自分が行う際のイメージがつかめた。
- ・ロールプレイを通して、実際に報連相を行う際の抵抗感を減らすことができた。

**<活動の様子>**

なぜ報連相が大事？

報連相が大事な理由(自分にとって)

- ・ミスやトラブルを減らせる
- ・困ったことを一人で抱え込まなくてよくなる
- ・職場の人との信頼関係ができる

よくあるパターン

「迷惑をかけたくないから、言わないでおこう...」  
 「こんなこと相談していいのかな...」

→ 言わないままだと、あとで大きなトラブルになることも。

・ミニ講座では、報連相がなぜ大事なのかを学びました。



・架空シナリオをもとに、報連相のロールプレイをしているところ

・シナリオがあっても、緊張します。

【架空シナリオ例】

「すみません、ご相談があります。商品のラベル貼りを、10個分失敗してしまいました。貼り直した方がよろしいでしょうか」

ワークシート お名前

最近仕事で困ったこと・悩んだことはありますか？

朝から頭が痛いので報告書を書くことができません。

3つの中から一つにOLしてください

その場で、どんなふうに伝えられるとよかったですか？

具合が悪ければ、正しく伝えるべきです。

振り返りシート

○本日の研修で、どんな気づき・学びがありましたか？

やはり言葉には相手にちゃんと伝わりやすい話し方をすることが大事だと再確認しました。

○本日の気づき・学びを、仕事の中で、どのように生かしますか？

今回、学んだことはそのまま普段に伝えられるように実践したいと思っています。

**成果物**

・最後に、今日の研修のまとめをして、その後、各自、振り返りシートを作成しました。

### 連携先の企業や事業所等の意見または評価

・今回の研修テーマは「報連相」である。報連相の大切さは、本研修の受講利用者3名も、頭ではよく分かっているはずだが、実際の業務等を遂行する中で、報連相が必要な場面があっても、十分実践できているかという点を決してそうではないとのことであった。・仕事を円滑に進めていくためには報連相は不可欠である。一般就労を目指す利用者にとっては、必要な訓練内容であり、利用者の実態から言っても、本研修を通して、改めて報連相の重要性を学び、実践につなげるための研修を行うことは意義深いと考えた。・研修の過程においては、ロールプレイを行ったことで、実際場面へ生かそうという気持ちも生じたようだ。研修の最後には、「報連相は、すぐに行うことが大事」との感想も聞かれ、今回の研修は一定の成果を得たと言える。

連携先企業（担当者）	株式会社チョープロ 人事部 今村勇史
------------	--------------------

### 利用者からの意見・評価

【気づき・学び】・言葉にして、相手にきちんと伝わるような話し方をすることが大事だと再確認した。・実際の場面でうまくできるかどうか分からないが、ロールプレイなどを通して、報連相が自分の課題であることに気づいた。

【仕事にどう活かすか】・今日の研修の内容は、そのまま普段から使えると感じたので、ぜひ実践していきたいと思った。

・困ったことがあれば、即刻、相談する。ミスをしたときも、即刻、報告する。「早い段階での報連相」。これを課題にして頑張りたいと思った。